

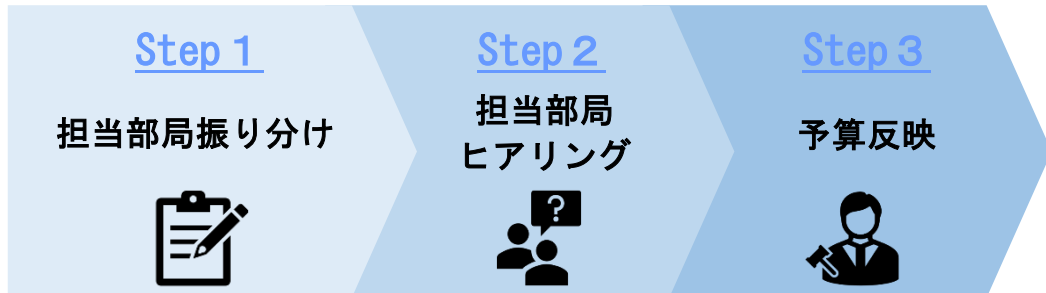
未来甲賀市２０２２－若者政策アイデアコンテストの検討結果について

１．昨年度コンテストの概要

- 開催時期：令和４年９月１７日～令和４年１１月１９日
- 発表チーム数：１２チーム（４１名）
- 提案アイデア数：２７

２．検討の流れ

- いただいた提案を２７に細分化し、担当部局へのヒアリングを実施。
- ヒアリングの中では、提案をそのまま導入する場合での実現可能性の検討にとどまらず、既存事業に取り込む場合での実現可能性についても検討。



３．提案を反映した事業例

（１）小中学校における遠距離通学への補助

【R５年度予算：遠距離通学費支援 10,911 円】

- 距離要件の緩和は難しいですが、通学路において安全上課題のある地域（土山地域の一部）を新たに補助対象とします。

（２）若者のＵターン促進

【R５年度予算：若者ネットワーク構築業務委託 600 千円】

- 市出身者へのＳＮＳ等のデジタル媒体での情報発信によるネットワークを構築します。

（３）居場所づくりへの支援

【R５年度予算：居場所の創出応援事業 1,000 千円】

- ひきこもりや不登校などの支援を目的とした居場所のづくりにかかる費用の一部を補助します。

（４）貴生川駅周辺整備計画における複合施設の建設

【関連予算：貴生川駅周辺整備事業 37,212 千円】

- 官民連携による複合施設の機能について、コワーキングスペース、レンタルスペース、カフェなどを検討します。
- 貴生川エリアプラットフォームや社会実証実験を通して、ニーズを調査します。

（５）病児・病後児保育制度の事前登録の利用者負担軽減

【関連予算：電子母子手帳サービス業務委託 990 千円】

- デジタル母子手帳の登録情報（病歴やワクチン接種記録など）の活用により事前登録の負担を軽減します。

（６）子どもの権利条例の検討

【関連予算：子ども・子育て支援事業計画ニーズ調査業務委託 3,170 千円】

- 「子ども・子育て応援団支援事業計画」の改定にあわせて、子どもの権利条例の制定について検討します。